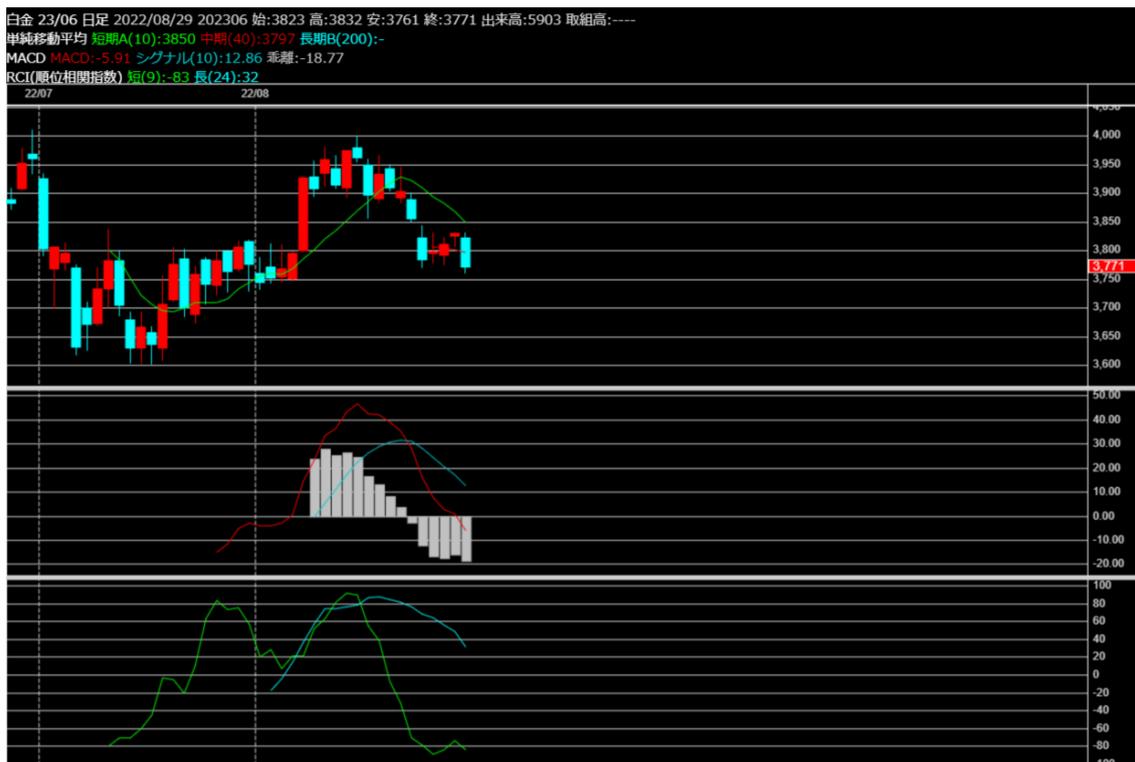


## <白金標準先物、新甫 8 月限の 3750 円以下は買い妙味あり・・・>



(出所：オアシス)

ワイオミング州ジャクソンホールでカンザスシティ連銀主催のFRB年次総会でパウエルFRB議長は講演で、インフレを根絶するために利上げを継続し、金利を高い水準でしばらく維持する可能性が高いことを示唆し、当局が近く方針を転換するとの見方をけん制している。また黒田日銀総裁はパネル討論会後の質疑応答で、賃金と物価が安定的かつ持続可能な形で上昇するまで、持続的な金融緩和を行う以外に選択肢はないと述べるなど、日米金融政策の違いが浮き彫りとなっている。

特に金融政策のイベントが終わり、市場にドル高：円安の動きが加速する可能性を高めており、円建て価格の白金標準先物では3770円で下げ渋る値動きを見せている。

また9月5日にはWPIC第2四半期PGM需給報告が予定されている。特に南アフリカの鉱物生産は3ヵ月連続で低下しており、大手プラチナ鉱山4社は上半期の収益は生産低下やコスト高を受けて収益は減少を示しており、第1四半期のプラチナ需給バランスである19トンの供給過剰が第2四半期では下方修正される可能性は高く、為替市場の円安と合わせて白金標準先物を押し上げる可能性は高まると思える。

### <テクニカル>

白金標準先物の日足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDとシグナルが下げ続けており、RCIでも短期が-80%以下で維持しながら長期が下げており、オシレーターは下向きの動きが予想され、新甫8月限は3750円を試す可能性は高くなったと思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,128,000 円(2022 年 8 月 29 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 36,080 円(2022 年 8 月 29 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>